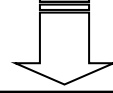


令和6年度和歌山県保健師研修
(地域包括ケアシステムマネジメント研修・中堅期コンサルテーション研修)

① 事前課題

- 課題図書を読む
- 地域包括ケア関連の最新の動向（知識・技術・関連法・社会情勢等）を調べる
- 「実践内容記入シート（様式1）」の記入
- 「実践計画記入シート（様式2）」の記入
- 「個人評価チェックシート」の記入



② 前期プログラム 9月4日(水)

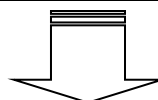
※時間等変更する場合があります

＜目標＞					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題テーマとする健康課題を構造的に捉え直すことができる ○ 保健福祉活動実践を進めるための計画を作成し、活動の見通しをたてる ○ 地域包括ケア等担当する保健師に求められる力量が自覚できる 					
9月4日(水) 9:45-16:00 場所：和歌山県看護協会					
時間	形式	内容		講師・発表者等	ねらい
9:30		(開場) 受付			
9:45-9:50		オリエンテーション			
9:50-10:00 (10分)	挨拶	開会・挨拶 担当者、指導者紹介 研修ガイダンス		看護協会長 和歌山県医務課	
10:00-12:00	講義	中堅期コンサルテーション事業 ～中堅期の人材育成～ ・プログラムの目的 ・中堅期保健師の役割 ・プログラムの進め方		兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏	○中堅期保健師に求められる役割を理解し、本コンサルテーションプログラムの目的と進め方が理解できる。
12:00-13:00 (60分)		(昼食)			
13:00-14:00 (60分)	グループワーク	受講者の自己課題と計画紹介 (自己評価チェックシートの確認含む) 助言		兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	○講義で習得した内容とグループディスカッションを通して自分の実践計画に反映させる
14:00-14:15		(休憩)			
14:15-15:15 (60分)	発表	各自の実践計画の発表		兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	○他者の発表を聞き実践計画の実施にむけ、具体的な実践のイメージができる
15:15-16:00 (45分)	グループワーク	各自の実践計画の再修正 事務連絡・アンケート		事務局	

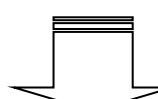
③ 実践の場(9月～10月)

＜目標＞

- 健康課題を構造的に捉え直す
 - ・ 担当する地域の健康に関するデータ等の整理・課題分析
 - ・ 法的施策的情報整理
 - ・ これまでの取り組み・関連事業の総括

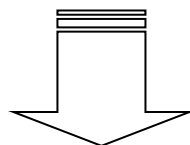


課題提出：10月7日(月) 12:00 締め切り (様式2・様式3・課題整理表)



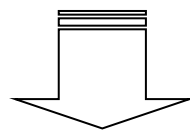
④ 中期プログラムⅠ 10月18日(金)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
10月18日(金) 10:00-16:00 場所：和歌山県看護協会					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:30		(開場)		
グループ別	10:00-10:30 (30分)	グループワーク	プログラムの目的再確認 本日のコンサルテーションプログラムについて		
グループ別	10:30-12:00 (90分)	グループワーク	・実践内容の発表 実践の振りかえり 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	○参加者同士の課題や方向性を共有する ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)		(昼食)		
全体	13:00-14:00 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表 ・質疑応答	発表者 助言者： 兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	○他分野の実践事例を全体で共有する ○他者の発表を通して自己の・実践を振り返る
	14:00-14:15 (15分)		(休憩)		
全体 グループ別	14:15-15:45 (90分)	講義 グループワーク	・ドアノッキング訪問について ・コンサルテーション 家庭訪問、聞き取り、事例検討など ロールプレイング	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	○保健福祉活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ○他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	15:45-16:00 (15分)		事務連絡	事務局	

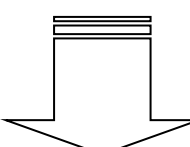


⑤ 実践の場(11月~12月)

<目標>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭訪問や面談を実践し、課題テーマの健康課題を構造的に捉え直す <ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者聞き取り訪問と事例検討 ・ 関係する機関、者への聞き取り訪問 ・ 組織的活動計画・実践(関係職種と連携した保健師活動の実践)

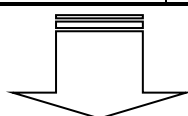


課題提出：12月2日(月) 12:00 提出〆切 (様式4・課題整理表)



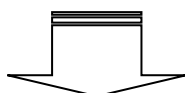
⑥ 中期プログラムⅡ 12月13日(金)

<目標> ○ 自己の実践経過をまとめ、今後の活動計画とその実践について見通しをたてる					
12月13日(金) 10:00-16:00 場所：和歌山県看護協会					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:30			(開場)	
全体	10:00-10:05 (5分)		本日のコンサルテーションプログラムについて	事務局	
グループ別	10:05-11:00 (55分)	グループワーク	・実践内容の発表 実践の振り返り 困難点や疑問点のまとめ ・質疑応答	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	○参加者同士の課題や方向性を共有する ○他者の発表を通して自己の実践を振り返る
全体	11:00-12:00 (60分)	発表	実践計画・実践内容の発表	発表者：受講者 助言者：指導者	・他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:00-13:00 (60分)			(昼食)	
全体	13:00-14:40 (100分)	講義	保健福祉活動の企画・実施・評価 保健師活動の可視化と政策提言	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏	実践経過を総括・評価（企画評価、実施評価、結果評価）する方法が理解でき、実践の成果と新たな課題を提示し、政策提言ができる能力を強化する
	14:40-14:45 (5分)			(休憩)	
グループ別	14:45-15:55 (70分)	グループワーク	コンサルテーション	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	・保健活動推進にあたり出現する困難点・疑問点の解消を図る ・他者との意見交換を通じ実践の方向性の確認をする
	15:55-16:00 (5分)		事務連絡	事務局	

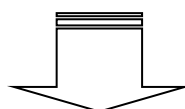


⑦ 実践の場(12月~1月)

<目標> ○ 軌道修正した活動計画に基づき保健活動を継続実践する ○ 評価の方向性と評価に必要なデータ収集について見通しを立てる
--

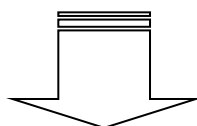


課題提出：1月24日(金)12:00 提出〆切 (様式4・様式5・パワーポイントスライド4枚)



⑧ 後期プログラム 2月5日(水)

<目標> ・ 自己の実践を振り返り保健師としての力量形成につながった要件を明確にする ・ 実践経過を総括・評価しその成果と新たな政策課題を提案することができる能力を強化する					
2月5日(水) 10:00-16:00【後期プログラム】 場所：和歌山県看護協会					
	時間	形式	内容	講師・発表者等	ねらい
	9:30			(開場)	
	9:55-10:00		オリエンテーション		
グループ別	10:00-10:40 (40分)	グループワーク	活動成果の発表と共有 ・ 活動成果発表 ・ 質疑応答 ・ コンサルテーション	発表者：受講者 助言 兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	・ 参加者同士の活動成果や今後の方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	10:50-11:00		(休憩)		
全体	10:50-12:15 (85分) 1人5分発表 各人発表後 質疑応答約5分	発表	活動成果の発表と共有 ・ 活動成果発表 実践の総括と評価から、自組織への政策提言もしくは今後の「組織的活動計画・実践」の内容は見てきたか。それがみえた体験(実践や結果)とはなんであったか。政策提言につなげるためには、今後更に何が必要か。 ・ 質疑応答 ・ 助言	発表者：受講者 助言： 兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子氏 コンサルタント	・ 参加者同士の活動成果や今後の方向性を共有する ・ 他者の発表を通して自己の実践を振り返る
	12:15-13:15 (60分)			(昼食)	
全体	13:15-15:15(120分)	個人ワーク グループワーク 発表 全体討議	研修での実践内容を振り返り、「保健師に必要な能力は何か」実践を通して改めて考える。 ①「能力強化のための活動」で自分が実施したこと、その意味、そこから得た学びを振り返る。 ②「能力強化のための活動」で自分が実施できなかったこと、その理由、そこから得た学びを振り返る。 今後の継続的な研鑽をどう進めるか ①自分が実施できなかったことを実施するためにはどのようなことが必要か。 ②研修後もモチベーションを維持していくためにはどのようなことが必要か ③保健師としての力量形成のためにはどのような研鑽が必要か 全員発表	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏 コンサルタント	自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にする 「保健師に必要な能力は何か」を自己の実践を通して改めて考え、言語化することで、自己の保健師像を確立し、モチベーションの向上やアイデンティティの強化につなげる 自己の実践を振り返り中堅期保健師としての力量形成につながった要件を明確にし、今後の自己の力量形成に必要な研鑽のあり方について見通しを立てることができる
	15:15-15:25		休憩		
全体	15:25-16:00 (35分)	講義	保健師活動の現状と課題	兵庫ライフケアクリニック 副院長 石井 敦子 氏	



最終課題及びアンケートの提出 2月28日(金)提出〆切

修了証の発行